

発作性心房細動において肺静脈隔離術に上大静脈隔離術を追加した場合の術後 安静時心拍数に及ぼす影響に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究実施体制

研究代表機関 済生会熊本病院 (責任者) 循環器内科 根岸耕大
共同研究機関 弘前大学 (責任者) 大学院医学研究科 循環器腎臓内科学講座 富田泰史

研究の目的と方法

発作性心房細動の多くは肺静脈起源ですが、2番目に多い起源として上大静脈があり、当院では肺静脈隔離術に加え、上大静脈隔離も実施することがあります。

もともと肺静脈隔離術は心臓にある自律神経の集まりに影響を及ぼすため、術後に安静時心拍数が増加することが知られていますが、上大静脈隔離術を追加した場合の安静時心拍数の変動に対する永久緒は現在わかっていません。そこで、肺静脈隔離術のみを施行した患者さんと、追加で上大静脈隔離も施行した患者さんで、術後の安静時心拍数の変動を比較する研究を行います。

研究の対象となる方

2021年1月～2022年7月に当院で発作性心房細動に対しカテーテルアブレーション治療を受けられた方

使用する試料・情報

年齢、性別、服薬歴、採血検査、心電図検査、心エコー検査、手術情報、合併症の有無
[情報の使用開始] 2024年5月1日～

研究予定期間

2024年5月1日～2025年4月30日

個人情報の取り扱い

研究情報は、人が特定されないよう氏名等を削除した状態で済生会熊本病院の許可された研究者のみが使用します。弘前大学へは集計結果等の形式のみを提供し、患者さん個人が特定されることはありません。研究成果は学会等で発表予定ですが、こちらも集計結果のみを用いますので、患者さんのプライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 根岸耕大

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、下記問い合わせ先へお申し出ください。利用・提供を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協

力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先	済生会熊本病院 循環器内科 根岸耕大 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
---------------	---